

05 プレゼンの冒頭で聴衆の心をわしづかみにしよう

背景と目的

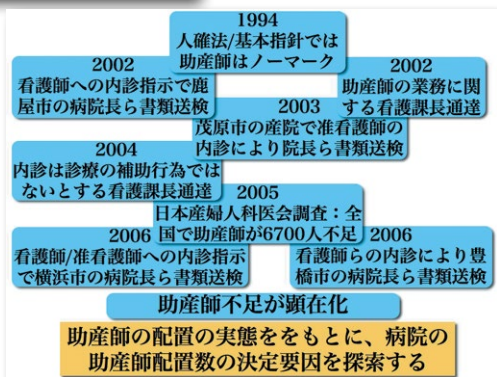
- ・ 発表者（看護師）が受け持っていた患者。生命徴候（vital signs）の変化は認められなかったが、「今晚あたり危ないかもしれない」という先輩看護師の耳打ち→的中→なぜわかったのか？→なんとなく
- ・ 実は看護の現場ではよく知られていて、しかも普通に受け入れられている事象→しかし実証研究は皆無
- ・ 入院患者の死が近いことを知る技術の存在と、その獲得過程を明らかにすることが大目的
- ・ 本研究では、生命徴候の明らかな変化によらずに（自称）入院患者の死期が近いことがわかる看護職の特性について報告する

オーソドックスなイントロの例。日本認知心理学会での発表だったので、聴衆は看護のことをあまり知らないという前提で作成。スピーチでピンと来ない場合でも、読んだらだいたいわかることを目指したスライド。

前田ら (2014). 看護職による患者の死期の予見に関する研究—予見できる看護職の特性—. 日本認知心理学会第 12 回大会.

タイトルの次のスライドはイントロに決まってる、ということでスライドタイトル表示をやめて、この研究がなぜ必要なのかについて歴史的観点から述べたときのスライド。

前田樹海 (2011). 臨床助産師数を決定する要因. 第 31 回日本看護科学学会学術集会



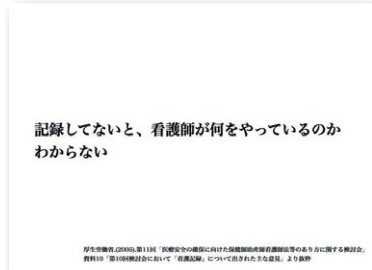
タイトルがキャッチーであれば、ツカミはほぼ成功しているとも言えますが、聴衆の心をつかむ上で最も重要なのがタイトルの次のスライドです。

「緒言」、「はじめに」、「背景」、「目的」などの見出しがつくこのスライドは、自分の研究がなぜ必要で、何を明らかにするのかを述べるスライドです。

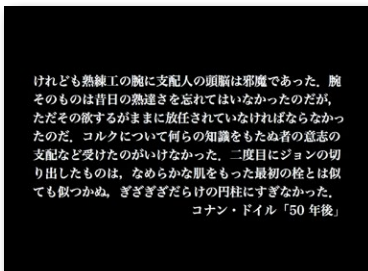
このスライドの完成度が高ければ、聴衆は「ああ、だからこの研究は必要なんだ」とか「この研究目的を達成するにはどんな方法が？」



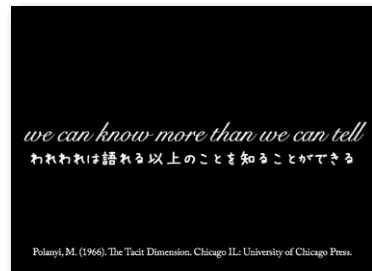
前田樹海.(2013).看護系学術誌掲載の査読基準を満たす論文の書き方について～論文編集委員の視点から～.平成25年度日本赤十字看護大学FD研修会.



前田ら.(2015).言語表出が不可能な根拠に基づく看護判断とその看護行為の記録に関する試案.第35回医療情報学連合大会.



前田樹海.(2016).「経験」を学習できる教材は開発可能かー看護の現場と教育の観点からー.第28回人工物コロキウム「人工物とヒトを結ぶ学習・スキル」



前田樹海.(2016).「看護師の急変予知の表現特徴の暗黙知性ー情報学的考察ー.第17回日本医療情報学会看護学術大会.

何か意味ありげなプロローグから始めるというのもあり。上記はどれも実際のプレゼンで使用したものの。

などの関心を寄せてくれるはずです。

逆に、このスライドが陳腐だと、「もうこの発表はいいや」と思われてしまうかもしれません。他人の研究を理解するのはそれなりにエネルギーを使うので、発表の冒頭で興味をもてないと、聞いているふりをしてスルーしてしまう聴衆が続出します。

退屈な見出しからの脱却も一案です。たとえば「これまでなぜ枕とベッドの研究が進展しなかったのか？」とすれば、何の情報ももたらさない「緒言」よりすぐれた見出しと言えます。

06

方法は必要事項を過不足なく伝えつつ、簡潔に

研究方法	
調査対象 <ul style="list-style-type: none">分娩を取り扱っている病院、診療所、助産所	データ収集法 <ul style="list-style-type: none">上記の機関全7,086件に対して質問紙を郵送回答後、返信用封筒もしくはファックスにて返送
標本抽出法 <ul style="list-style-type: none">病院・診療所<ul style="list-style-type: none">市販の医療機関名簿(R&D, 2007; 2008)から、産科および産婦人科を標榜する病院1,493件、診療所4,781件を抽出助産所<ul style="list-style-type: none">ネット上の資源(Yahoo!電話帳、iタウンページ等)を利用し812件を抽出	調査内容 <ul style="list-style-type: none">回答時点における分娩取扱の有無平成18年度から平成20年度までの<ul style="list-style-type: none">年間分娩総数<ul style="list-style-type: none">正常産数(再掲)里帰り出産数(再掲)就業助産師数<ul style="list-style-type: none">正規職員数(再掲)分娩に携わる助産師数(再掲)助産実習受け入れ学校数助産学生受け入れ人数助産師教育に関する考え(自由記載)
長野県看護大学倫理委員会の受審および承認(平成20年12月24日審査番号21)	

結果で提示するデータはすべて述べておく必要があります。プレゼンで述べる結果に合わせて、調査項目を絞ってもよいです。

p38の前田(2011)の次のスライド。「方法」は、目的をどのように明らかにするのかを提示する大事なスライドです。母集団が産科、産婦人科を標榜する病院および診療所であり、それらの全数調査であること、要因探索のために選択した説明変数について列挙しています。

方法のスライドには、方法を表示すればいいのですが、その際には、前のスライドで示した研究目的を達成するのに必要な情報を記述しているか、という神の視点でチェックすることが大切です。

たとえば、「全国の病院で使用されている枕とベッドの種類と分布を明らかにする」という研究目的なら、方法のスライドにはそれを達成できる(と論理的に聴衆が思える)具体的な方法を記載します。

また「調査対象：病院リストから抽出した400件」では全国性的も母集団の代表性も聴衆にはわかりません。文字数を費やしても「全国

調査対象

- ・看護職(保健師、助産師、看護師、准看護師)252名
- ・認定看護管理者講習会受講者43名
- ・看護系大学のFD研修会参加教員および大学院生99名
- ・協力の得られた精神科病院の看護職員110名

データ収集方法

- ・調査時期：2013年11月
- ・無記名式の質問紙調査
- ・研修会では会場で参加者に質問紙を配布し、研修終了時に提出するか、または、同内容のウェブフォームを通じて回答。

看護系免許と教育の概要



分析方法

- ・従属変数
 - ・明らかな生命徴候の変化によらず入院患者の死期を認識した経験の有無
- ・独立変数
 - ・年齢・性別・婚姻状況・所持免許・子供の数・教育背景・免許別の経験年数・通算経験年数
 - ・独立変数の尺度水準に応じて、Fisherの正確検定もしくはStudentのt検定
 - ・有意水準 = 5% (両側)

調査内容

- ・年齢、性別、婚姻状況、子供の人数
- ・職位、教育背景
- ・所持免許および免許別経験年数
- ・誰の目にも明らかな生命徴候の変化によらず入院患者の死期を認識した経験の有無

倫理的配慮

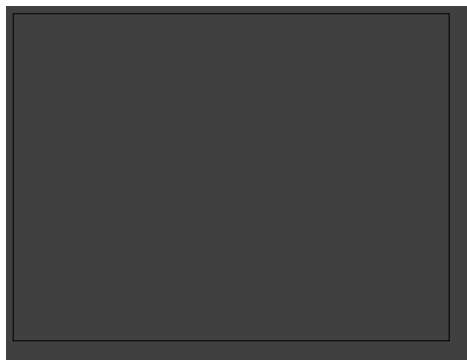
- ・研究者らの所属する大学の倫理審査委員会の審査を受け、承認の得られた計画どおりに実施した（承認番号：有明医療大倫理委承認第75号）

方法提示のオーソドックスな例。p38 前田ら(2014)の次に続くスライド。そのときの聴衆が看護にあまりなじみがないことを考慮し、調査内容の理解に必要な、看護系免許と教育に関するスライドも入れています。

の病院（8,492件）から病床規模ごとに層化無作為抽出した400件」としたほうが、研究目的と論理的に整合します。

「データ収集方法：アンケート調査」というのもあっさりし過ぎです。アンケート調査だけだと、質問紙なのか電話インタビューなのか、はたまたネットのフォームで回答なのかはつきりしません。もちろん、口頭で説明すればOKですが、スライドに具体的に示しておいたほうが親切というものです。

08 結果と考察をまとめて述べるのがスマートな王道



左のスライドのように結果と考察（討議）を分けるのが王道中の王道ですが、上のスライドのように結果と考察を分けずに述べていくと、聴衆が結果を忘れないうちに討議ができます。そうするとプレゼンの内容がさらに理解されやすくなる場合もあります。

考察は、結果をもとにさまざまな討議を行うスライドです。たとえば、回答者が母集団を代表しているか？ とか、仮説を支持しない結果がなぜ生じたのか？ など、得られた結果に批判的視点を加えて、確からしい結論を導くための手続きと言えます。

プレゼンの王道的には、結果のスライドと考察のスライドは分けるべきだと思います。しかし、発表時間は限られていますし、結果で提示したデータを考察のスライドまで聴衆に覚えておいてもらうのが難しい場合もあります。

わが国の実際の助産師養成キャパは？

- 平成18年度から平成20年度の間に、学部に通産師コースをもつ大学は100件
- 回収数は43件(回収率：43%)

【開設者別回収数分布】



【助産師コース定員比率による助産師養成キャパシティ補正】

教育機関	学校数	1学年定員	補正值
大学院	3	70	70
大学専攻科	2	25	25
大学	90	7,169	867
短期大学	19	325	325
養成所	33	735	735
計	147	8,324	2,022

8,324人の1/4以下の2,022人と推計

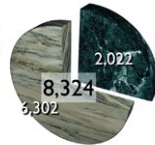
- 43件中、助産師コースの定員を数字で定めている大学が34件(79.1%)
- これら34大学の助産師コース定員の総和は349名
- これら34大学の1学年定員の総和は2,880名
- 助産師コースの定員比率は349/2,880=12.1%

【助産師コース定員分布】



結論

- 平成18年度の助産師養成定員は2,000人余り
- 日看協、日医、厚労省の数字は、実際の4倍過大評価している可能性



本研究は平成20年度厚生労働科学研究「助産師の供給実態の把握と適正な養成数及び配置基準の探案(主任研究者：前川順海)」の一環である。

これも結果と考察をまとめて述べたプレゼンのスライド。わが国の助産師養成のキャパシティの実態について回答した看護系大学のデータ(=結果)をもとに全体を推計し、その妥当性を論じる(=考察)という一連のスピーチを4枚のスライドで示しています。

そんなときには、結果と考察をまとめて述べてしまいましょう。

たとえば、性別と回答傾向のクロス集計表を示して結果を示したのち、新たに考察のスライドを設けてその理由を述べるのはプレゼンの王道です。しかし、「性別によって回答傾向が違うのか？」というタイトルをつけて、クロス集計表で結果を提示すると同時に、提示したデータの理由や解釈まで行えば、発表がぐっとスマートになります。これはスマートな王道と言ってもよいでしょう。